

卒業生アンケート集計

2019年4月17日発送 152名 (2018年3月卒業生)

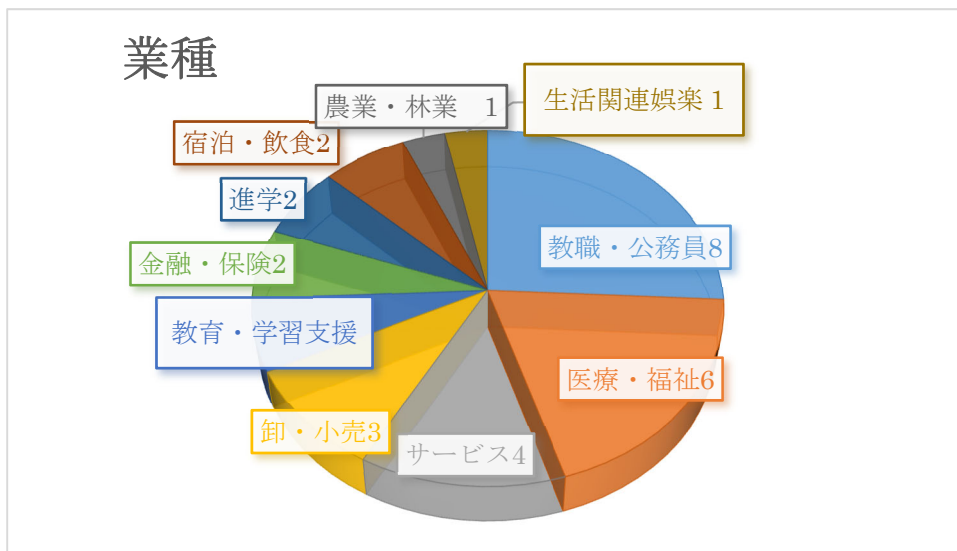
2019年5月31日締切

(人数)

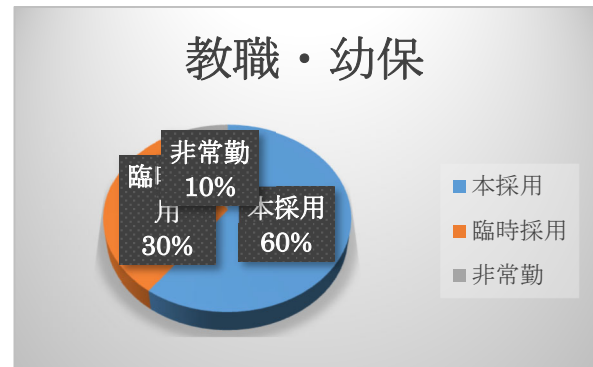
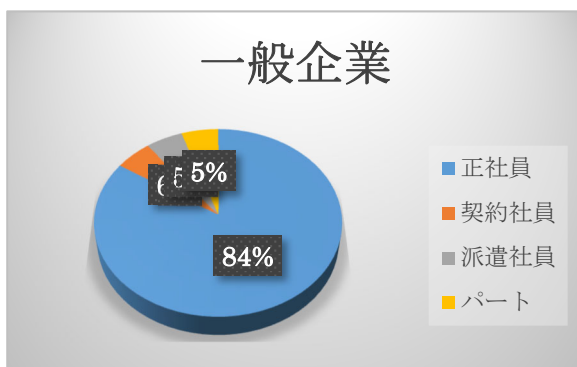
	発送数	宛先不明	回答数	男性	女性	回答率
CE 専攻	34	1	8	1	7	24.2%
保育コース	30	1	5	0	5	17.2%
児童教育コース	13	0	2	1	1	15.3%
心理臨床学科	75	6	16	4	12	23.2%
計	152	8	31	6	25	21.5%

有効配達 144 先に対し回答件数 31 件 回答率 21.5% (参考; 熊本大学 13.0%)

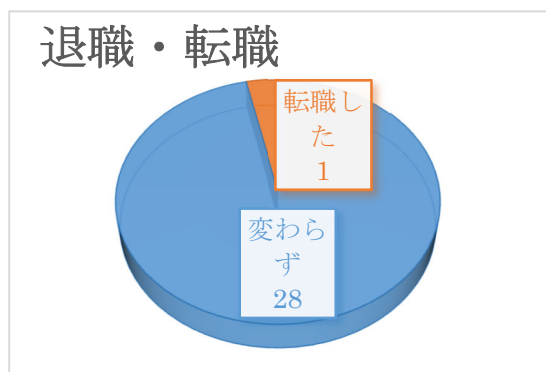
Q2-① 勤務先、進学先



Q2-② 雇用形態



Q2-③ 退職、転職等



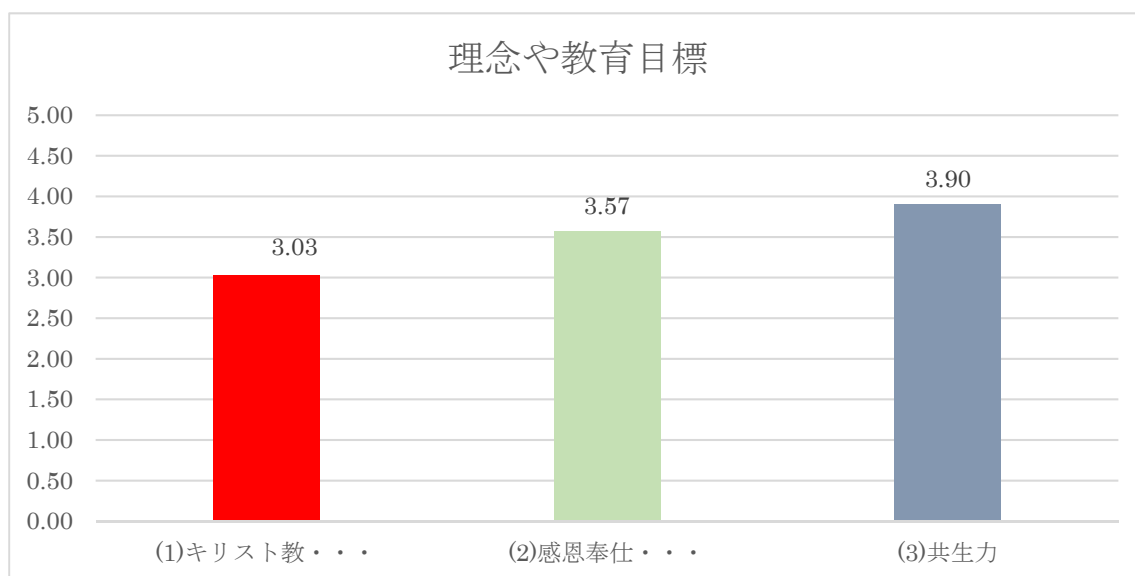
- ①28名；退職していない（96.6%）
 - ② 1名；転職した（3.4%）
- 合計 29名（31名のうち2名は現在も大学院）
- * 転職した卒業生 1名
心理臨床学科 男性
 - * 転職した理由
勤務先の人間関係に悩み。

Q3 在籍時の学習成果がどのくらい身につけているか

- 5 身に付いている
- 4 概ね身に付いている
- 3 少しは身に付いている
- 2 あまり身に付いていない
- 1 身に付いていない

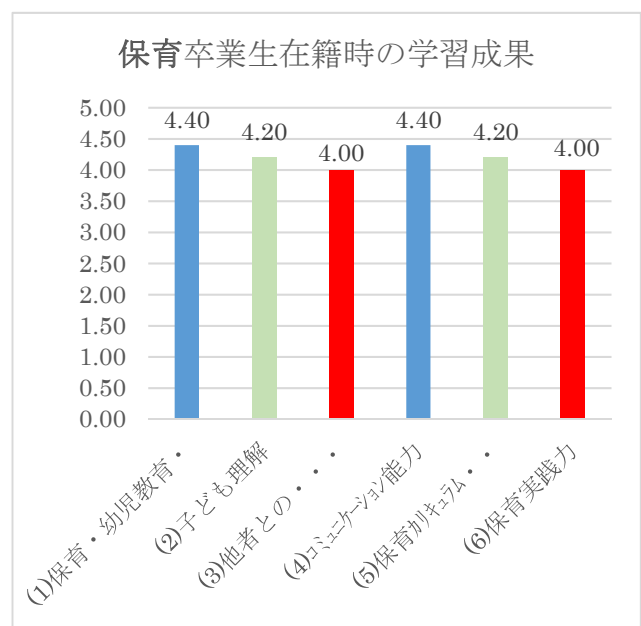
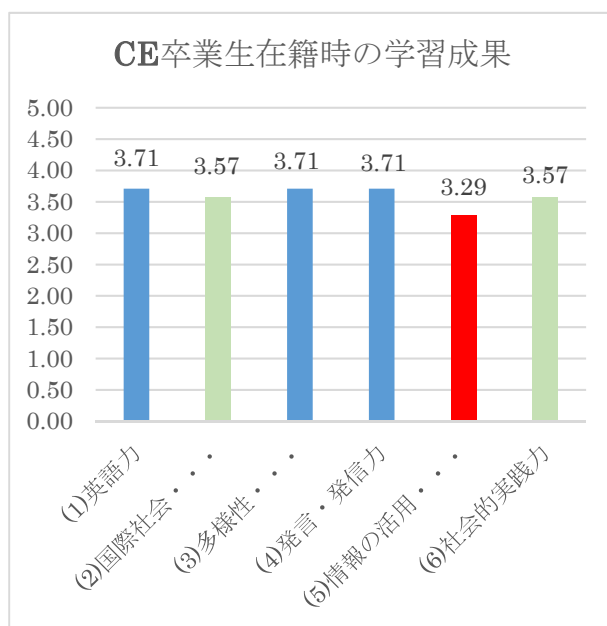
①本学の理念や教育目標について（全員記入のこと）

	項目	内容	平均回答
(1)	キリスト教精神の理解	キリスト教精神やそれに基づく感恩奉仕の精神を理解している	3.03
(2)	感恩奉仕の体現	ボランティア精神と倫理観を持ち、社会で自分の役割を果たしている	3.57
(3)	共生力	社会の動向に関心を持ち、また異なる文化や他者を理解し、その社会・文化の中で他者とともに協同することができる	3.90



②キャリア・イングリッシュ専攻卒業生への質問（回答 8 名）（赤字；下位点数、青字；上位点数）

(1)	英語力	伝達媒体として英語の技能（読む、書く、聞く、話す）が向上している 英語の専門知識が身に付いている	3.71
(2)	国際社会についての知識	国際人となるための知識、世界情勢、グローバル・ビジネスに関する 知識が身に付いている	3.57
(3)	多様性の理解	日本を含む国際社会の多様なあり方・考え方を柔軟に捉えることができる	3.71
(4)	発言・発信力	修得した知識、自分の意見を言語化・具現化して表現できる	3.71
(5)	情報の活用能力	ITスキルを修得し、その知識・技術によって情報分析や情報発信に活用できる	3.29
(6)	社会的実践力	修得した知識・技能を実習や体験の場で活かすことができる	3.57

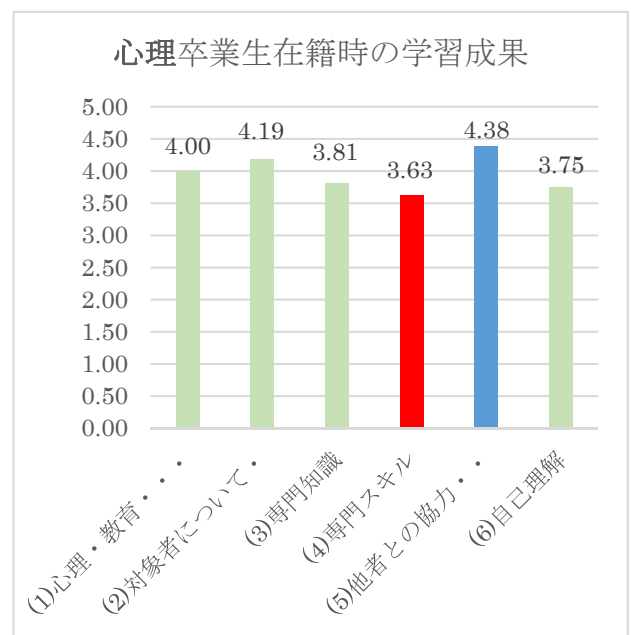
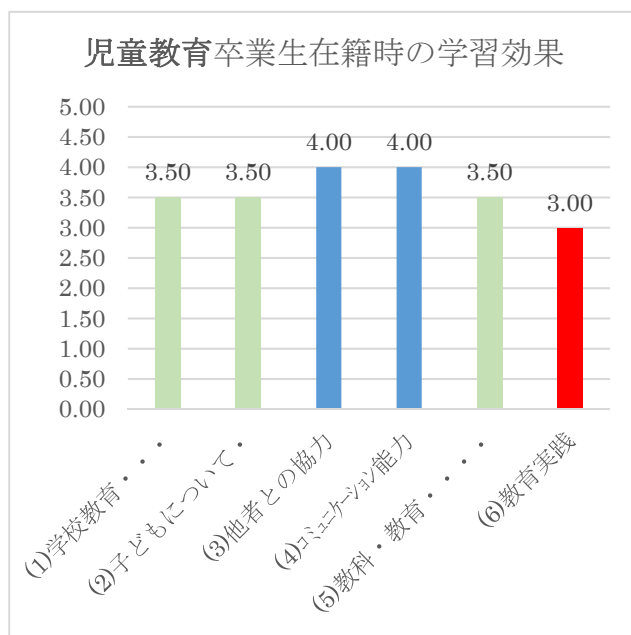


③保育コース卒業生への質問（回答 5 名）（赤字；下位点数、青字；上位点数）

(1)	保育・幼児教育の理解	保育・幼児教育の意義、原理、理念、倫理観、法規、社会的役割に関する理解	4.40
(2)	子ども理解	保育心理学、発達心理学、保育・福祉、子育て支援に関する理解	4.20
(3)	他者との共同能力	グループワークの基本理解、保育現場における集団の理解、地域との連携に関する 基礎能力	4.00
(4)	コミュニケーション能力	保育現場における受容的態度、専門職としての対話能力、保育指導能力	4.40
(5)	保育カリキュラムに関する 基本的理解	保育カリキュラム、保育方法、情報機器の活用、保育指針・教育要領の基本的理解	4.20
(6)	保育実践力	PDCAサイクルを活かした保育計画立案と実践、クラス経営、子育て支援・家族支援の 実践力	4.00

④児童教育コース卒業生への質問（回答 2 名）（赤字；下位点数、青字；上位点数）

(1)	学校教育についての理解	教職の意義・理念・法規・教育史・社会的役割・地域の特色に関する理解	3.50
(2)	子どもについての理解	教育心理・教育原理・発達論・学習集団の形成・対応力に関する理解	3.50
(3)	他者との協力	他者意見の受容・保護者地域との連携協力・共同授業・役割遂行に関する理解	4.00
(4)	コミュニケーション能力	子どもに対する態度・公平・受容的態度・社会人としての基本・集団理解及び指導力	4.00
(5)	教科・教育課程に関する基礎知識・技能	各教科に関する基礎理論・知識・実践力・情報機器の活用・学習指導要領の理解	3.50
(6)	教育実践	教材分析能力・授業創造力・教材開発力・授業展開力・学級経営力に関する理解	3.00



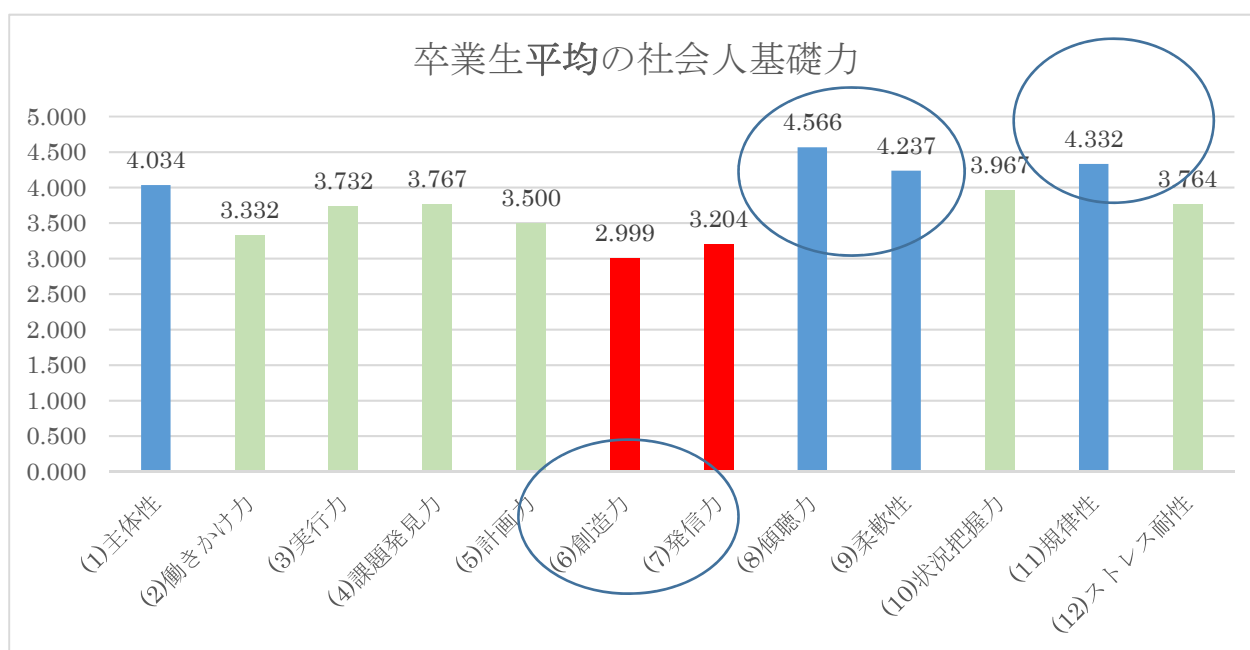
⑤心理臨床学科卒業生への質問（回答 16 名）（赤字；下位点数、青字；上位点数）

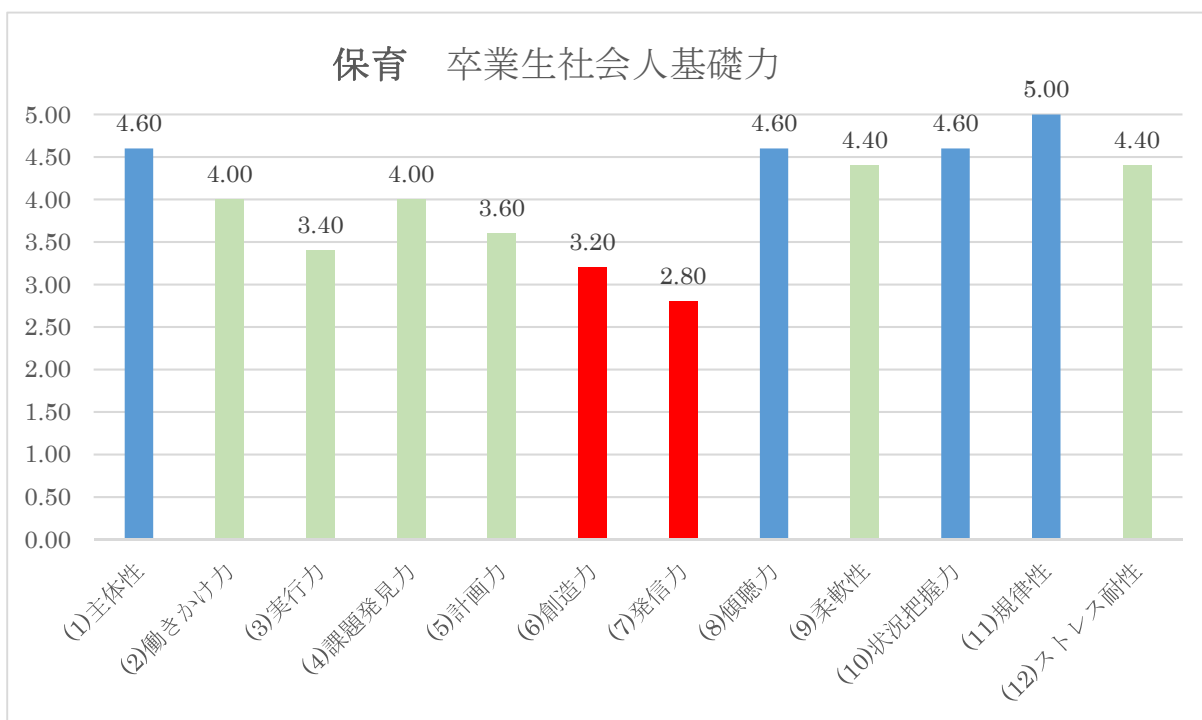
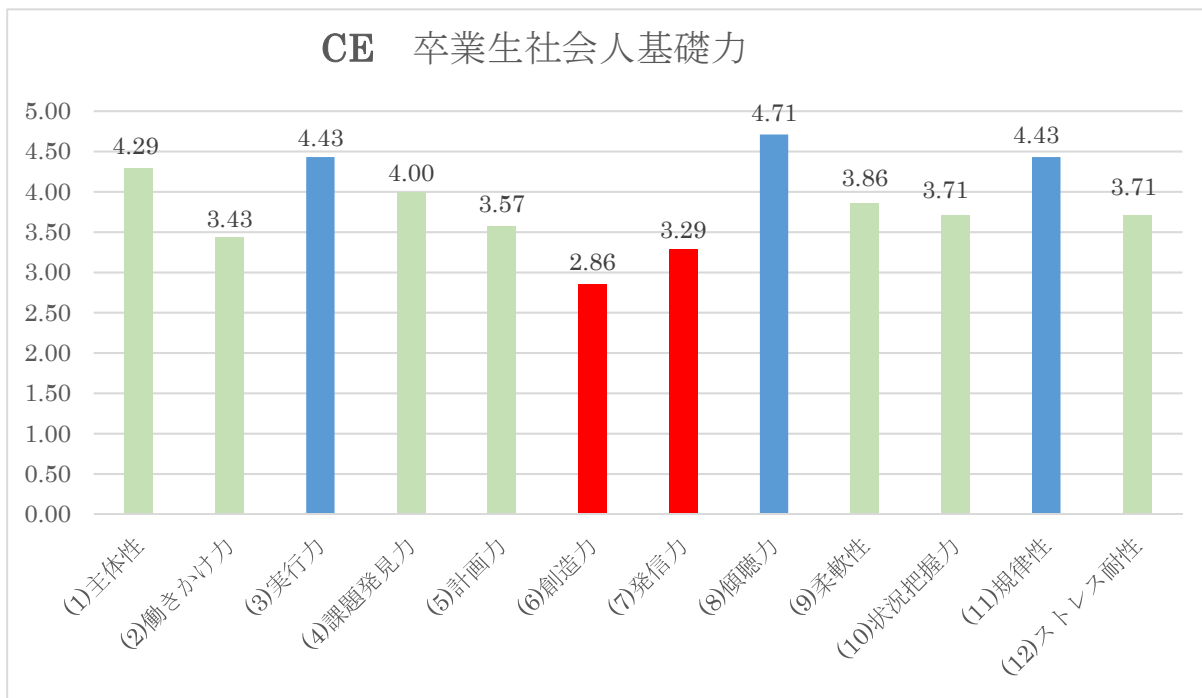
(1)	心理・教育・福祉についての理解	社会、思想・哲学、人権、ジェンダー、生命・医学などの幅広い視点で心理・教育・福祉を理解している	4.00
(2)	対象者についての理解	人間の発達の特徴や家族関係、障害児・者の特性、心の問題や精神疾患の特徴を理解している	4.19
(3)	心理臨床・特別支援教育・精神保健福祉に関する専門知識	心理職、特別支援学校、精神保健福祉士といった職種及び研究に必要な理論・思想が身に付いている	3.81
(4)	心理臨床・特別支援教育・精神保健福祉に関する専門スキル	心理職、特別支援学校、精神保健福祉士のいずれかに必要な査定・教育・援助・研究の技法や情報処理技能が身に付いている	3.63
(5)	他者との協力・連携	適切な感情・態度で他者やその立場を受容し、適切なマナーやルールのもとで他者と協力・協働できる	4.38
(6)	心理・教育・福祉の実践力と自己理解	自己および社会・現場を理解し、心理職、特別支援学校、精神保健福祉士のいずれかに関わる知識・スキルを活かした実践ができる	3.75

Q4-1 社会人基礎力を現在どの程度身に付けているか

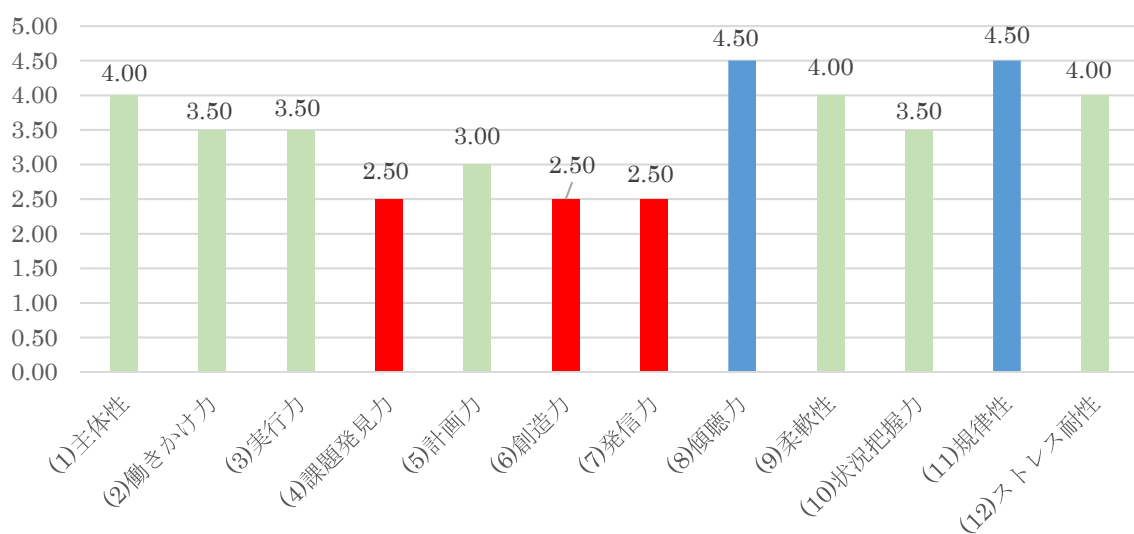
(赤字；下位点数、青字；上位点数)

12の能力	内容	CE	保育	児童	心理	平均
(1) 主体性	物事に進んで取り込む力	4.29	4.60	4.00	3.75	4.034
(2) 働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力	3.43	4.00	3.50	3.06	3.332
(3) 実行力	目的を設定して確実に行動する力	4.43	3.40	3.50	3.56	3.732
(4) 課題発見力	現状を分析し目的や課題を見出す力	4.00	4.00	2.50	3.75	3.767
(5) 計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにする力	3.57	3.60	3.00	3.50	3.500
(6) 創造力	新しい価値を生み出す力	2.86	3.20	2.50	3.06	2.999
(7) 発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力	3.29	2.80	2.50	3.38	3.204
(8) 傾聴力	相手の意見を丁寧に聴く力	4.71	4.60	4.50	4.50	4.566
(9) 柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力	3.86	4.40	4.00	4.38	4.237
(10) 状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	3.71	4.60	3.50	3.94	3.967
(11) 規律性	社会のルールや人との約束を守る力	4.43	5.00	4.50	4.06	4.332
(12) ストレス耐性	ストレスの発生源に対応する力	3.71	4.40	4.00	3.56	3.764

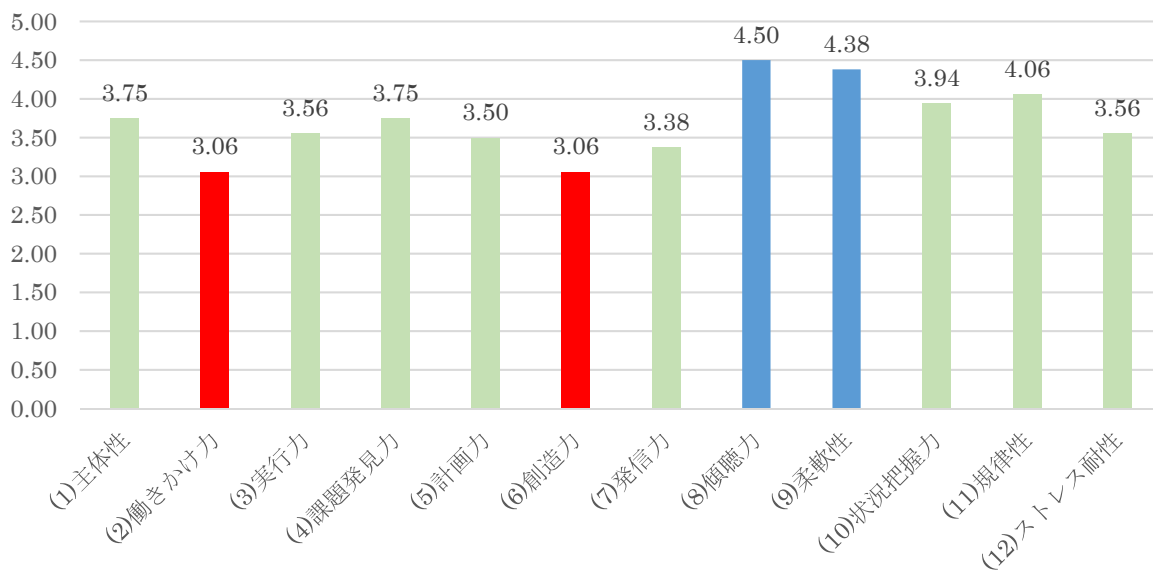




児童教育 卒業生社会人基礎力



心理 卒業生社会人基礎力



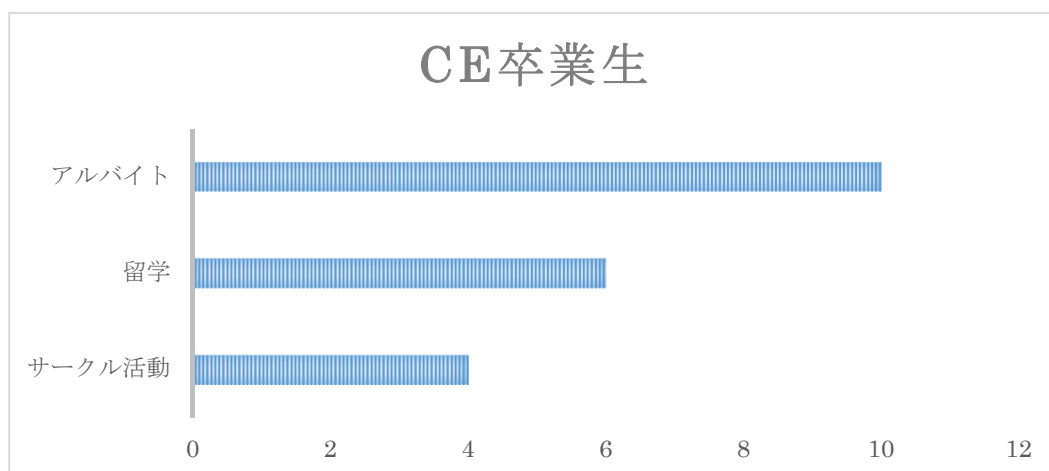
Q4-2 社会人基礎力を身に付けるのに何が役に立ったのか

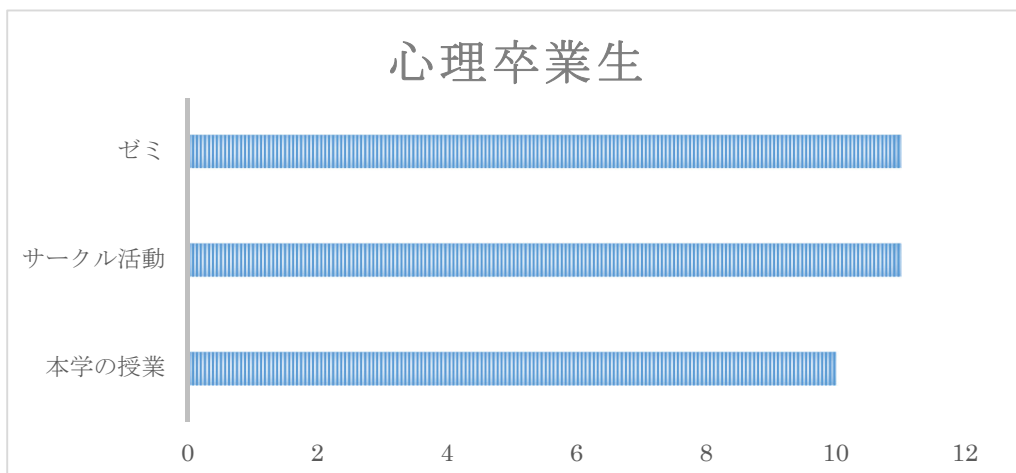
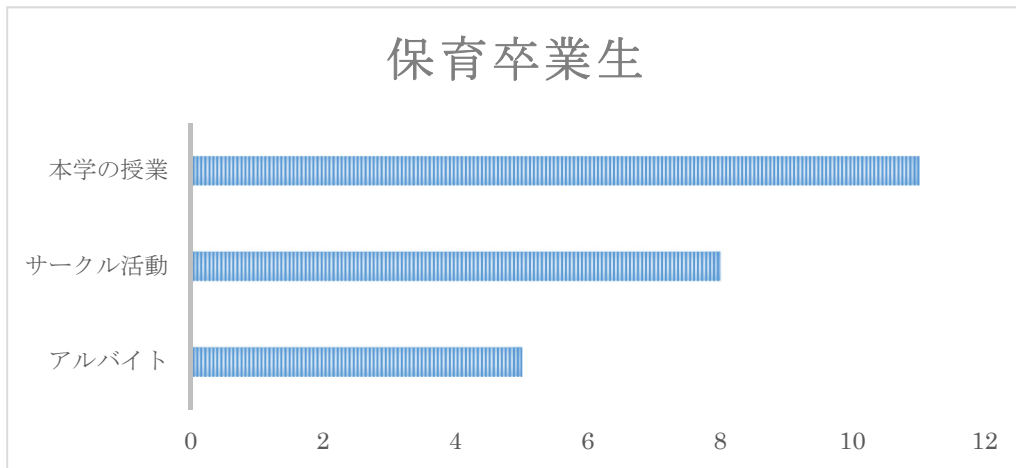
- 1 本学の授業 2 ゼミ 3 インターンシップ 4 留学・異文化 5 ボランティア活動
6 サークル活動 7 アルバイト 8 先輩・友人 9 自治会 10 独学・専門学校
11 学内外のイベント 12 勤務先での研修 13 その他

(複数回答可) 上位3項目を左から順に記載

	CE			保育			児童			心理		
	7	4	—	6	1	5				1	6	2
(1) 主体性	7	4	—	6	1	5				1	6	2
(2) 働きかけ力	7	8	—	6	1	7				6	2	5
(3) 実行力	7	6	—	1	6	7				2	1	6
(4) 課題発見力	1	12	7	1	—	—				1	2	6
(5) 計画力	4	7	12	1	2	6				2	1	6
(6) 創造力	4	8	9	1	5	6				1	6	2
(7) 発信力	4	7	9	1	—	—				2	6	8
(8) 傾聴力	7	1	4	1	6	8				1	6	—
(9) 柔軟性	7	4	9	1	6	—				1	6	2
(10) 状況把握力	7	1	8	7	1	8				6	1	2
(11) 規律性	7	12	—	8	7	1				1	2	6
(12) ストレス耐性	7	8	12	7	8	6				1	2	8

児童教育コースは回答者が1名のため記載せず。





Q4-3 実社会で必要と思われる社会人基礎力を5つ書いてください

順位	CE	保育	児童	心理
1	(3) 実行力	(1) 主体性		(12) ストレス耐性
2	(1) 主体性	(2) 働きかけ力		(8) 傾聴力
3	(9) 柔軟性	(8) 傾聴力		(9) 柔軟性
4	(11) 規律性			(1) 主体性
5	(12) ストレス耐性			(3) 実行力

Q4-4 社会人基礎力以外で、大学時代に身に付けておけば良かったことや、在學生に身に付けて欲しい能力や資質をあげてください

CE 卒業生

- ・”他人がいることのありがたみ” 他人がいるからこそ、自分の意見とは違う意見・見解を知り、自分の価値を見出すことが出来ると実感しました。”誰かのため”と思える気持ちを大切にしたい。
- ・特別なことはないが、”挨拶”はどこでも重要視されると感じています。
- ・気持ちの良い挨拶、感謝や謝罪の言葉を素直に言えること。
- ・”資格取得”。私が在学中に取得した資格は車の運転免許だけでした。現在スーパーでパートをしながら公務員試験に挑戦しており、先日企業局での実地試験が終わりました。まだ結果がでていないのですが、PCを使って作業した際に、ワードやエクセルなどの資格を取っていたら と少し後悔しました。何かしらの資格を取ると自信が持てます。
- ・個人的には、もっと語学力を身に付けておくべきだったと思います。

保育 卒業生

- ・正しい敬語の使い方。
- ・子どもと接するときの言葉遣いについて（正しくないと現場で浮いてしまいます）。
- ・タイムマネジメント（時間の有効活用）。

児童 卒業生

- ・学び続ける姿勢 ICT。
- ・コミュニケーション能力。

心理 卒業生

- ・一般常識
- ・ストレスマネジメントの方法。
- ・外国語での基本的な会話力。
- ・在學生には人への「感謝、謝罪」が当たり前でできる社会人になってほしい。実際に後輩ができ、敬語の使えなさに驚いている。
- ・”挨拶” ”時間や期限を守る” ”感謝の気持ちを伝える”。
- ・もっとインターンシップを多く取り入れると社会に適応しやすくなるのでは。
- ・価値観の違いに対し柔軟な対応ができるようになること。
- ・上司に対するきちんとした態度。
- ・人の背中を見て学ぶのは大事だが、ついてまわるばかりではだめ、主体性がないと”大勢の中の一人”から抜け出せない。
- ・英語力を試すための留学、障がいのある方との交流など、色々な場所に行く経験をもっとしておけば良かった。大学生は比較的時間に自由があるので「時間がないとできないこと」をおすすめします。
- ・自分が誰にも負けないという気持ちや物を持つこと。現在の自信のなさが仕事をする上で声の大きさや行動につながってしまっている。
- ・危機管理（児童・生徒が転倒すること等）の意識。
- ・挨拶・笑顔・分からないことを分からないと言える心・相談できる人（上司、友達、同期）を見つける
- ・感謝の気持ち。

Q5 仕事をする上での悩み、課題やそれを誰に相談していますか

CE 卒業生

- ・人間関係で悩むことは多々あります、仲の良い先輩・同期・家族に話すことで解消しています。
- ・何か悩みごとがある時は、同期や大学の時の友人に話している。
- ・英語を忘れないでいられるかどうか。相談はしていないがするなら友人。
- ・スーパーでレジ業務を担当しているので、毎日色んなお客様と出会います。お話をしていると楽しいが、何かしら突っかかったり、セクハラまがいの発言をするお客様に困っています、同僚と話しています。
- ・人間関係やその他様々なことで悩んでいます。相談というより、グチを吐くことしかできてません。

保育 卒業生

- ・仕事量の多さ、定時で帰れない、持ち帰りが多い。同僚・友人・家族に相談している。
- ・人間関係。保育中に疑問に思うことや、間違っていると思うことがあっても、その相手が言いたくても言えないような年齢でひいてしまうことが多く、1年間我慢し、父親に相談していたが、他の先生方が聞いてくれるので、相談しやすくなった。しかし、場の雰囲気や空気を気にしすぎてよく人間関係に悩むことが多い。
- ・保育園での複数担任制に少し悩んでいます。毎日入る先生が入れ替わるため、連携が難しく、負担が大きい。年の近い先生や主任に相談しています。

児童 記載なし

心理 卒業生

- ・会社の将来、方針 相談は上司にしている。
- ・労働時間、仕事の内容 家族・上司・同僚に相談。
- ・直属の上司や年齢の近い先輩に相談しています。
- ・同僚と上司の衝突が頻繁にあり、居心地が悪く職場の雰囲気が悪い。先輩や事務の人に相談している。
- ・自分自身の仕事における知識や技術不足を感じています、ですが職場の3つ上の先輩に時間を見つけてOJTをしていただいて、日々教育を受けているところです。
- ・経験や知識がまだないので、仕事が思うように進まない。職場の人や友人に相談している。
- ・とても忙しい現場で働いているので、分からないことを尋ねたり、勉強する時間を工面することが難しく「もっと技術があれば」と思うことが多々あります。持病があるので、きついなと思ったときに、もう少し周りの人に言えるようにすることが、最近の課題です。
- ・仕事の優先順位を決めて仕事をすることや、クラスや学年のことをよく理解し、把握することが難しい。相担の先生や学部主任に相談しながら進めている。
- ・保護者との関わり。他の先生と相談している。
- ・利用者さんとの関わり方、関係機関とのやりとり、利用者間でのトラブルへの対応。上司、同僚、先輩家族に相談している。

Q6 大学時代に有意義だったと思う授業はありましたか

CE 卒業生

- コミュニケーションを取りながら、日常英会話が身に付いたため、アクストン先生とベンケ先生の授業はとても有意義でした。
- 使える英語力を養えるコミュニケーションイングリッシュ (?) の授業は必要なものだったと感じます。座学よりも会話が必要になります。
- 英語指導者原論? (J-SHINE) での小学校実習 (ボランティア)
- アドバンストの英語クラスとパソコンに関する授業 (Word 等)。筆記系ではなく、会話を主体としている授業が普通の日本の英語クラスと違って良かった。レベルも低くなくて頑張れた。パソコンは単に将来に役立つから有意義だと思います。
- 「こどもと英語」アクストン先生のお話が面白く、実際に現場で子どもたちに英語を教える際に取り入れている教材やゲームで英語を楽しむだけではなく、子ども目線、指導者目線で考え方が変わったりするのが面白かったです。
- 心理学、英語。接客業をしているので心理学で学んだことが役に立つときがある。東京勤務のため、毎日海外の方を接客している。
- 英語を使って話す、発表するという授業がすべて有意義でした。

保育 卒業生

- 保育の表現技術のような制作に活用できるもの。模擬保育、色々な計画を立てるために他の人の案が参考になる。
- 上下関係というか、親しくなるチャンスだと思うので、異年齢の合同授業 (ちょっとしたもの) は良かったと思う。(上の人や下の人との関係づくりを学べる)
- オペレッタ。完成させるまでに、友人と意見を出し合い、協力し合い、時に葛藤し合うという経験は社会に出てから、人と仕事をする上で最も役に立つと思うから。
- 子どもの保健、保健内容。障がい系の授業。保育現場では、様々なパターンの発達障がいの子もいます。

児童 卒業生

- 現場の声が聞けたので、教職実践演習。
- ゼミ。やりたいことを探求できるから、それにより一番知識が身に付いたと思う。

心理 卒業生

- 西先生のボランティア体験学修、有村先生の認知行動療法。
- 認知行動療法、社会心理学。
- 臨床心理関係の授業。ストレス対処法を学べたため。
- ゼミ。役割への責任感が身に付いた。また主体的に発信する力や、他者を受け止めまとめる力が付いた。
- 振り返ればどれも有意義でした。自分の進みたい道で専門的に幅広く学べたことは良かった。
- ゼミ。個人で日々研究を進め、その進捗をゼミで報告しあい、その内容について、互いにコメントしたりといった時間が、視野を狭めずに広く考えを及ぼすコツを教えてくれたと思います。
- 認知行動療法、秘書学。認知行動療法は仕事を行う上での自分のストレスコントロールにとっても役にたっている。秘書学では秘書実務士の資格を得ることができ、対応力の基礎を築くことができました。お二人の先生方にも、とても良くしていただき、思い出のある授業です。
- 心理の発達検査（バウムテスト、内田クレペリン検査等）の検査は、現在教員採用試験の学習をする上でイメージしやすく、仕事でも子どもたちがした検査内容の理解がしやすく、良かったと思う。
- 先輩たちの話を聞く時間は授業以上に自分のためになりました。
- 認知行動療法の授業。ストレスマネジメントの向上になったから。
- 実習。実習先の病院の担当者に恵まれたことです。

Q7 本学全般にわたってのご意見はありませんか

CE 卒業生

- ・卒業して1年が経ちましたが、この大学に進んで本当に良かったと思っています。きっと何年経っても大学の思い出が蘇ってくるのだろうな、・・それくらいルーテルが好きです。
- ・就職活動を行っている際、親身に相談を聞いて下さったり、面接練習に付き合っ下さる所は、この大学の良い所だと思います。学生支援センターの△△さんには本当にお世話になりました。
- ・キャリアの〇〇です。特に意見はありませんが、△△さんご無沙汰しています。大学にも遊びに行きま、職場にも来て下さい。

保育 卒業生

- ・保育実習や幼稚園実習は同じ園に2回づつではなく、色々な園を見るほうが良いと思う。
- ・一つの園のことは詳しく知らずに就職条件について考えるのは難しいと思います。
- ・保育コースに卒論提出を求めるのは実用的でない気がします。(文書ではなく、もっと実践的なもの例えば、パネルシアター、手袋シアターなどを作って発表し合うなど。)
- ・学生と職員・教授の距離が近く、どんなことでも相談できる環境でした。

児童 卒業生

- ・ICTを活かした授業や、学生に外から一方的に内容を入れるのではなく、体験させたり、経験と繋げたりとアウトプットをより取り入れるといいと思う。

心理 卒業生

- ・学生支援センターの方々の存在は非常に大きく、学生の支えだったと感じる。教育に関しては、今後少人数教育の特徴を最大限に活かしていただけると、学生が充実した学習・活動を行えると思う。
- ・いろんな方に見守られている安心感を持って勉学できることは、ルーテルの素晴らしいところだと感じました。
- ・少人数で対応していただき本当にありがたかったです。とてもいい大学なので、もっとアピールすべきだと思いました。どうしても男子が入りづらいようです。実績を積み重ねてアピールしたらどうでしょうか。
- ・卒業生として、大学にお邪魔することがありますが、どこを通っても教職員の方々に声をかけて頂き改めてルーテルを卒業できて良かったなと思います。先日卒業式のコサージュ作りに参加させて頂きましたが、同じ学年の方が少なく、とても残念でした。とても良い機会だと思うので、もっと参加しやすくなれば良いなと思っています。
- ・教職の先生方はベテランの昔からやっている先生が多く、昔の話を聞くことができ、新しい情報も知ることができました。今後も新しい情報の話を学生に教えてください。小学校の各教科の授業はあったが、特支の各教科に特化した授業を受けたかった。
- ・学食、売店をもっと充実させてほしい。医療福祉で熊本県外への就職希望の学生へのサポートをもっとしてほしい、県内就職者への対応は手厚かったが、県外の情報やサポートも同様にお願いしたい。